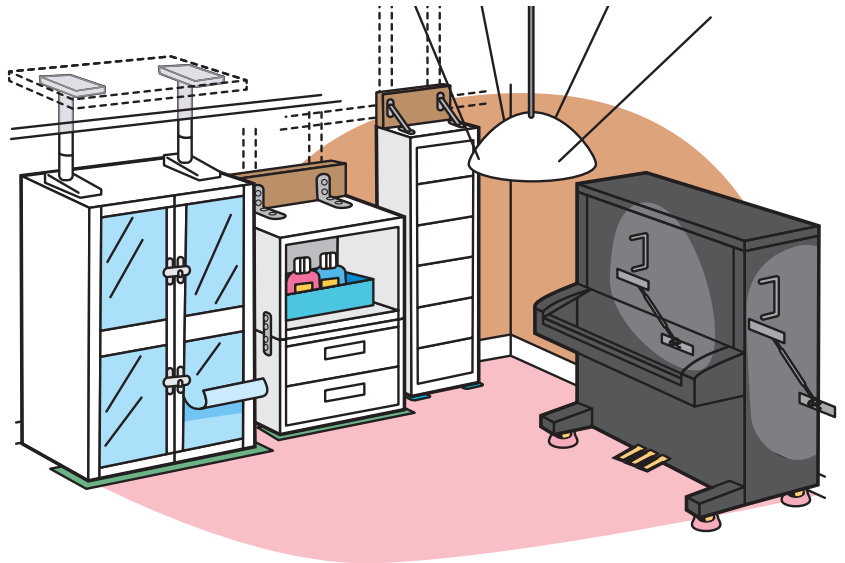


3

室内の家具転倒防止などの対策をおこなっていますか？

いざという時に命を守るため、家具の配置を見直し、固定することが大切です。

家具の固定は、費用的にも安く、取り組みやすい有効な対策です。



まずは室内の家具が災害時に危険性が高まる位置に設置されていないかを点検し、家具を減らす、移動するなどの対応をしましょう。

長い時間を過ごす部屋や寝室には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。

ご自分で固定ができない高齢者の方などは、市町村に相談してみましょ。市町村によっては、高齢者などへの固定器具の購入費などの助成、シルバー人材センター・取り付け業者のあっせんを行っているところもあります。

備えるポイント!

- ・避難路となる廊下や玄関をふさがない。
- ・窓や家具に使われているガラスは割れた時のために飛散防止対策をする。
- ・寝室にはできるだけ家具などを置かない。
- ・食器棚などの扉は、中身が飛び出さないようにとめ金などで開放を防止する。
- ・キャスター付きなどの家具はキャスターを撤去するか、車輪の移動防止措置をする。

